

令和3年度 海陽町地域活性化交流施設改修工事

図面番号	図面名	図面番号	図面名
A-01	特記仕様書－1	A-10	亀裂改修詳細図－1
A-02	特記仕様書－2	A-11	亀裂改修詳細図－2
A-03	特記仕様書－3・附近見取図	A-12	亀裂改修詳細図－3
A-04	配置図・1階平面図	A-13	亀裂改修詳細図－4
A-05	2階平面図・屋根伏図	A-14	亀裂改修詳細図－5
A-06	立面図(改修前)	A-15	亀裂改修詳細図－6
A-07	立面図(改修後)	A-16	職員室平面詳細図・展開図(改修前)
A-08	1・2階天井伏図	A-17	職員室平面詳細図・展開図(改修後)
A-09	詳細図		

項 目	特 記 事 項
9. 設計変更箇所確認	◎工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について監督員、工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること。
10. 工事検査及び技術検査	◎工事しゅん工前に全ての設計変更箇所について、監督員、工事監理業務受注者とともに、書面により確認すること。 ◎設計図書(各施工計画書を含む)に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査等を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。 ◎試験等によらなければ、確認できない工事(製品)については、試験等計画書(施工計画書に記載)を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。
11. 完成図等	◎電子納品：対象外 ◎提出書類 ・竣工図(製本1部)(A3版) ・工事写真(写真帳1部(・着手前・完成写真)) ・使用材料一覧表(1部) ・保全に関する資料 ◎竣工図は関係図面(データ貸与)を修正して作成すること。 ◎工事写真の電子データは完成写真、着手前、資材、施工状況の順に整理する。 完成写真については、工事目的物の状態が、資材、施工状況等については、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できること。 ◎工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。
12. デジタル工事写真の黒板情報電子化	◎受注者は、デジタル工事写真の黒板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の黒板情報電子化対象工事(以下、「対象工事」という)とすることができる。

区 分	サ イ ズ
着 手 前	カラー、手札版又はサービスサイズ
施 工 中	カラー、手札版又はサービスサイズ
完 成 写 真	カラー、手札版又はサービスサイズ

2章 改修仮設工事

項 目	特 記 事 項
1. 一般事項	◎着工に先立ち、敷地境界、既存構造物、敷地の高低差地下埋設物の確認、近隣建築物及び工作物の現状確認、排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況確認を行うこと。
2. 足場等	◎仮設機材及び経年仮設機材の使用については、次の規格又は認定基準(以下「規格等」という。)に適合するものを使用すること。 ①労働安全衛生法に基づく構造規格 ②(社)仮設工業会の認定基準 また、厚生労働省の「経年仮設機材の管理指針」の基づく(社)仮設工業会の「適用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用に努めること。
特 記：特記事項は◎又は、○印の付いた物を摘要する。	

2章 改修仮設工事

項 目	特 記 事 項
2. 足場等	◎受注者は、高さが2m以上の箇所で行作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行うこと。 ◎外部足場(種類：くさび緊結式足場、仕様：手摺り先行式 2枚布、D=600cm、シート仕様：防災I類) ・壁つなぎ間隔(水平方向:5.0m以下、鉛直方向:5.5m以下) ◎外部足場(種類：ブラケット足場、1枚布、シート仕様：防災I類) ・壁つなぎ間隔(水平方向:5.0m以下、鉛直方向:5.5m以下) ・足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」(2.2.4)の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式により行うこと。 ◎脚立足場 H=1.8m
3. 工事用用水、電力等	◎既存電力利用(出来る)、電力料金(有償)ただし、施設管理者と協議すること。 ◎既存用水利用(出来る)、用水料金(有償)ただし、施設管理者と協議すること。

4章 防水改修工事

項 目	特 記 事 項																												
1. シーリング	◎シーリング材は、JIS A 5758の規格品とする。 ◎プライマーは、被着体及びシーリングの種類により使い分けること。 ◎監督員に、シーリング材の有効期限が切れていないことの確認を受けること。 ◎シーリング面への仕上塗材仕上げ等を行う。 ◎外部に面するシーリング材は、施工に先立ち簡易接着性試験を行う。 ◎種類及び施工箇所																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>記 号</th> <th>材 質</th> <th>既 存</th> <th>施工箇所</th> <th>改修工法</th> <th>寸 法</th> <th>接着試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MS-2</td> <td>変成シリコーン</td> <td></td> <td>サッシ廻り</td> <td>再充填工法</td> <td>15X10</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>MS-2</td> <td>変成シリコーン</td> <td></td> <td>内部床壁取合い</td> <td></td> <td>10X10</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> <td>Uカット部</td> <td></td> <td>10X10</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table>	記 号	材 質	既 存	施工箇所	改修工法	寸 法	接着試験	MS-2	変成シリコーン		サッシ廻り	再充填工法	15X10	有	MS-2	変成シリコーン		内部床壁取合い		10X10	有	PU-2	ポリウレタン系		Uカット部		10X10	有
記 号	材 質	既 存	施工箇所	改修工法	寸 法	接着試験																							
MS-2	変成シリコーン		サッシ廻り	再充填工法	15X10	有																							
MS-2	変成シリコーン		内部床壁取合い		10X10	有																							
PU-2	ポリウレタン系		Uカット部		10X10	有																							
2. とい	◎といの材種(縦樋:塩ビ製 VU100φ) ◎たてどい受金物はステンレス製とする。																												

5章 外壁改修工事

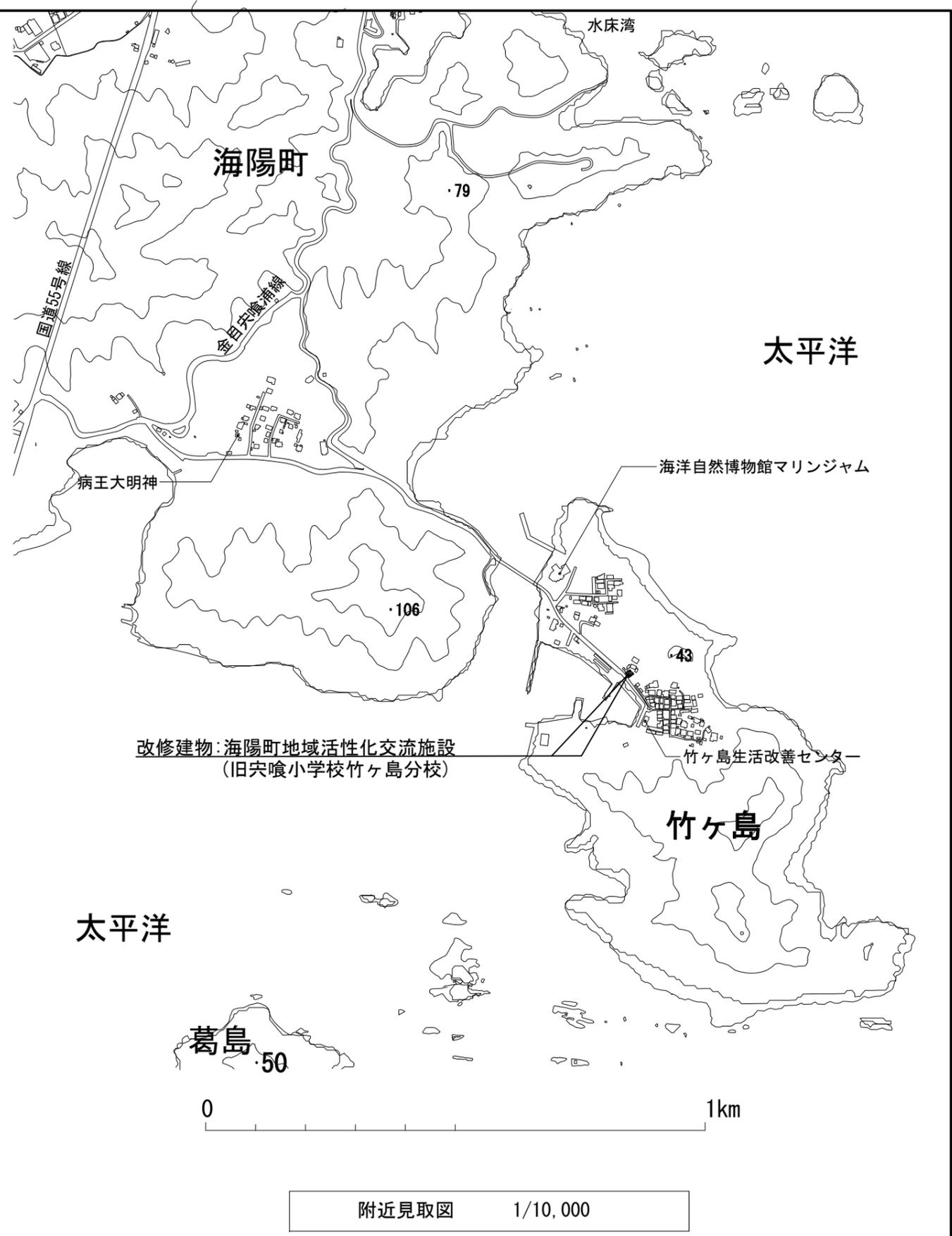
項 目	特 記 事 項
1. 外壁改修の施工数量及び調査方法	◎施工数量は、次の調査により監督員が承諾し確定した数量に基づき設計変更を行う。 ◎外部足場設置後、施工数量調査を行う。 ◎調査に先立ち、調査内容及び方法等の計画書を作成し監督員の承諾を得ること。また、調査方法等で専門知識が必要な場合は、各工法・材料の専門技術者(製造所等)に依頼すること。

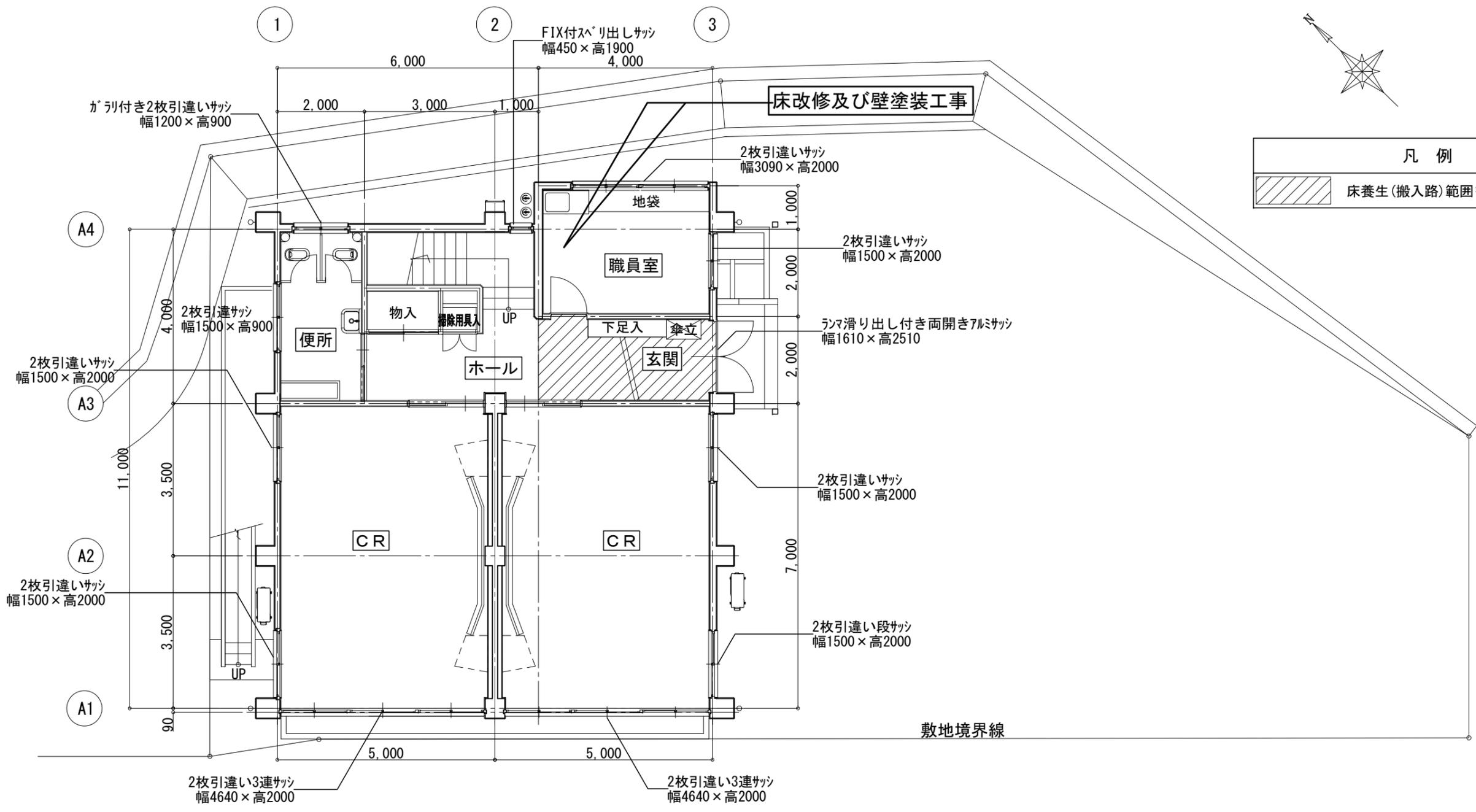
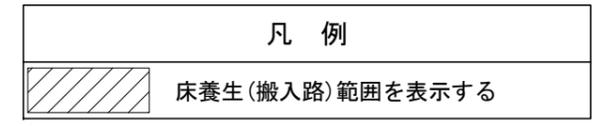
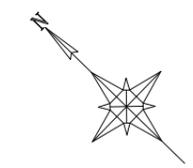
5章 外壁改修工事

項目	特記事項																																																								
2. 外壁改修工法の種類及び材料	<p>◎モルタル塗仕上げ外壁</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>ひび割れ部</th> <th>欠損部</th> <th>浮き部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>工法： 注入量：25ml/本 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：JIS A6024, 中, 低粘度形</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>リカットシール材 充填工法</td> <td>材料：改標仕表3.7.1による シーリング材：* リウレン系</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>シール工法</td> <td>材料：* 液状*樹脂, 可とう性*樹脂</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td></td> <td>材料： 材料：* リマセメントモルタル 塗厚：25mm以下 塗厚による 補強の有無：無 仕上げ種類：防水形外壁薄塗材E</td> <td>材料： 材料：* リマセメントモルタル 塗厚：25mm以下 塗厚による 補強の有無：無 仕上げ種類：防水形外壁薄塗材E</td> </tr> <tr> <td>モルタル塗替工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td></td> <td></td> <td>エポキシ樹脂：JIS A6024 充填量：25ml/本 ピン本数 一般：16本/m² 指定：25本/m²</td> </tr> <tr> <td>アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td></td> <td></td> <td>エポキシ樹脂：JIS A6024 注入量：25ml/本 注入口：12個/m² ピン本数 一般：13本/m² 指定：20本/m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎塗仕上げ外壁</p> <p>◎仕上げの模様、色及びつやは、見本帳又は見本塗り板を監督員に提出して、承諾をうけること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>既存塗膜の除去及び下地処理</th> <th>下地仕上</th> <th>下地調整</th> <th>仕上形状</th> <th>工法</th> <th>防火認定</th> <th>上塗材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薄塗 仕上塗材 JIS A 6909 防水形 外装薄塗材E</td> <td>高圧水洗工法</td> <td>リソ吹付</td> <td>C-1</td> <td>ゆず肌状</td> <td>ロー</td> <td>無</td> <td>艶無し</td> </tr> <tr> <td>薄塗 仕上塗材 JIS A 6909 外装薄塗材E</td> <td>高圧水洗工法</td> <td>リソ吹付</td> <td>C-1</td> <td>砂壁状</td> <td>吹付</td> <td>有</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	工法	ひび割れ部	欠損部	浮き部	樹脂注入工法	工法： 注入量：25ml/本 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：JIS A6024, 中, 低粘度形			リカットシール材 充填工法	材料：改標仕表3.7.1による シーリング材：* リウレン系			シール工法	材料：* 液状*樹脂, 可とう性*樹脂			充填工法		材料： 材料：* リマセメントモルタル 塗厚：25mm以下 塗厚による 補強の有無：無 仕上げ種類：防水形外壁薄塗材E	材料： 材料：* リマセメントモルタル 塗厚：25mm以下 塗厚による 補強の有無：無 仕上げ種類：防水形外壁薄塗材E	モルタル塗替工法				アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法			エポキシ樹脂：JIS A6024 充填量：25ml/本 ピン本数 一般：16本/m ² 指定：25本/m ²	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法			エポキシ樹脂：JIS A6024 注入量：25ml/本 注入口：12個/m ² ピン本数 一般：13本/m ² 指定：20本/m ²	種類	既存塗膜の除去及び下地処理	下地仕上	下地調整	仕上形状	工法	防火認定	上塗材	薄塗 仕上塗材 JIS A 6909 防水形 外装薄塗材E	高圧水洗工法	リソ吹付	C-1	ゆず肌状	ロー	無	艶無し	薄塗 仕上塗材 JIS A 6909 外装薄塗材E	高圧水洗工法	リソ吹付	C-1	砂壁状	吹付	有	-
工法	ひび割れ部	欠損部	浮き部																																																						
樹脂注入工法	工法： 注入量：25ml/本 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：JIS A6024, 中, 低粘度形																																																								
リカットシール材 充填工法	材料：改標仕表3.7.1による シーリング材：* リウレン系																																																								
シール工法	材料：* 液状*樹脂, 可とう性*樹脂																																																								
充填工法		材料： 材料：* リマセメントモルタル 塗厚：25mm以下 塗厚による 補強の有無：無 仕上げ種類：防水形外壁薄塗材E	材料： 材料：* リマセメントモルタル 塗厚：25mm以下 塗厚による 補強の有無：無 仕上げ種類：防水形外壁薄塗材E																																																						
モルタル塗替工法																																																									
アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法			エポキシ樹脂：JIS A6024 充填量：25ml/本 ピン本数 一般：16本/m ² 指定：25本/m ²																																																						
アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法			エポキシ樹脂：JIS A6024 注入量：25ml/本 注入口：12個/m ² ピン本数 一般：13本/m ² 指定：20本/m ²																																																						
種類	既存塗膜の除去及び下地処理	下地仕上	下地調整	仕上形状	工法	防火認定	上塗材																																																		
薄塗 仕上塗材 JIS A 6909 防水形 外装薄塗材E	高圧水洗工法	リソ吹付	C-1	ゆず肌状	ロー	無	艶無し																																																		
薄塗 仕上塗材 JIS A 6909 外装薄塗材E	高圧水洗工法	リソ吹付	C-1	砂壁状	吹付	有	-																																																		

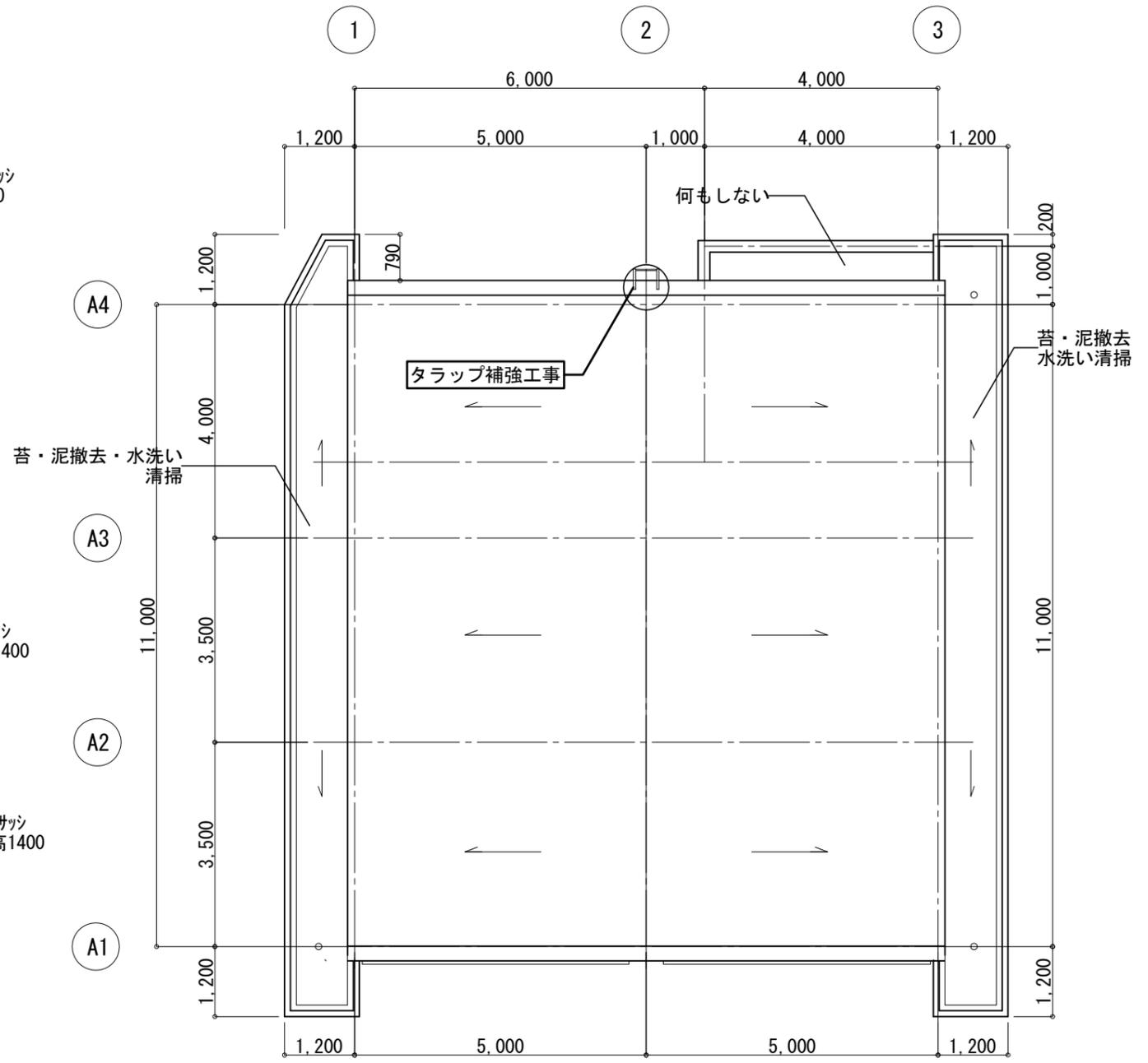
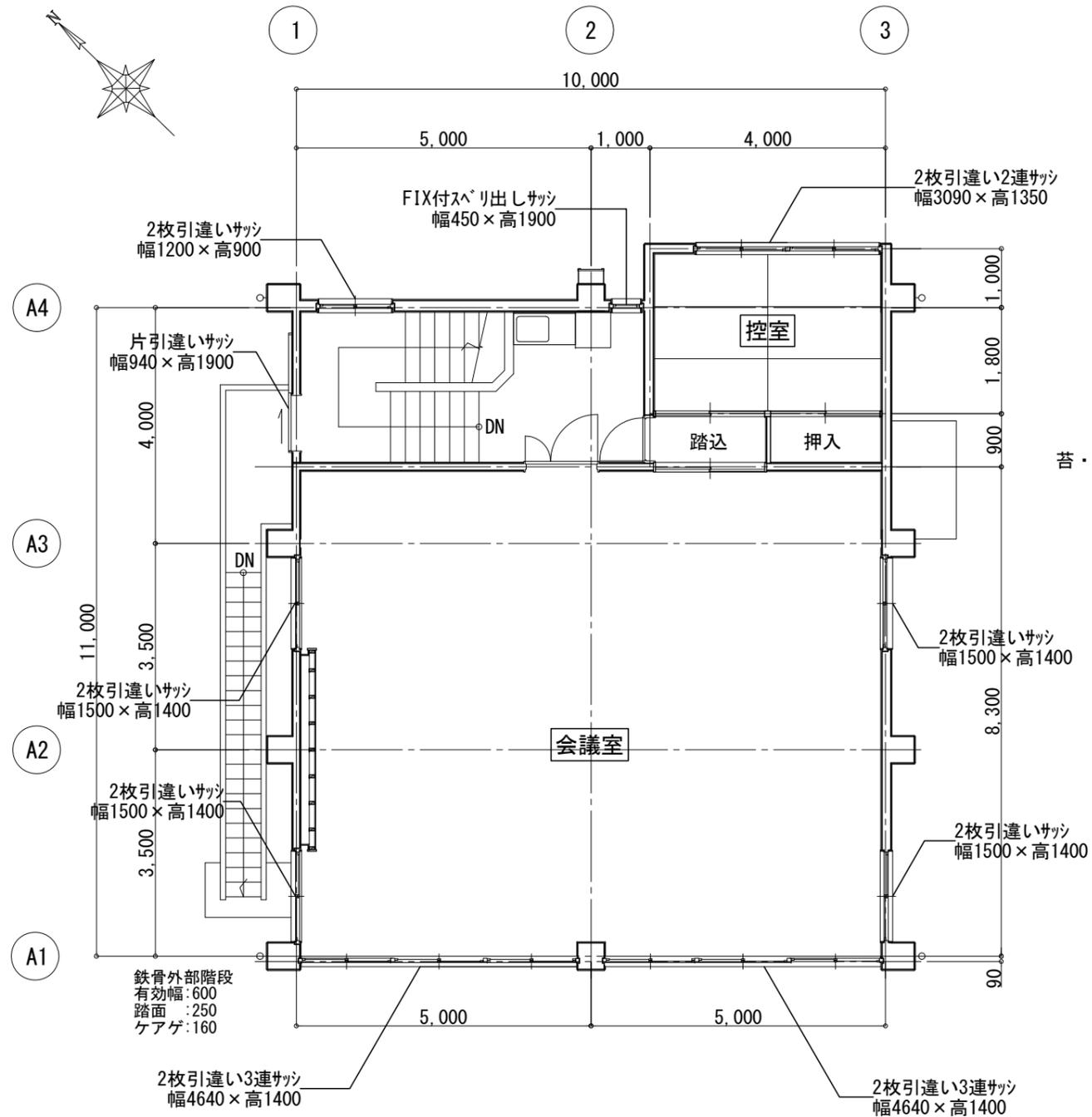
8章 塗装改修工事

項目	特記事項																		
1. 一般事項	◎防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。																		
2. 耐候性塗料塗り (DP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>上塗りの等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>亜鉛メッキ面</td> <td>C種</td> <td>RB種 3種ケソA</td> <td>3級</td> <td>縦種</td> </tr> <tr> <td>鉄面</td> <td>C種</td> <td>RB種 3種ケソA</td> <td>3級</td> <td>クランプ</td> </tr> </tbody> </table>	区分	種別	下地調整	上塗りの等級	備考	亜鉛メッキ面	C種	RB種 3種ケソA	3級	縦種	鉄面	C種	RB種 3種ケソA	3級	クランプ			
区分	種別	下地調整	上塗りの等級	備考															
亜鉛メッキ面	C種	RB種 3種ケソA	3級	縦種															
鉄面	C種	RB種 3種ケソA	3級	クランプ															
3. 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">種別</th> <th rowspan="2">下地調整</th> <th colspan="2">さび止め塗料</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td></td> <td>○</td> <td>RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	種別		下地調整	さび止め塗料		備考	屋外	屋内	屋外	屋内	木部		○	RC種			
区分	種別		下地調整	さび止め塗料		備考													
	屋外	屋内		屋外	屋内														
木部		○	RC種																
4. 合成樹脂エマルジョンペイント塗料 (EP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>B種</td> <td>RB種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	種別	下地調整	備考	コンクリート面	B種	RB種											
区分	種別	下地調整	備考																
コンクリート面	B種	RB種																	

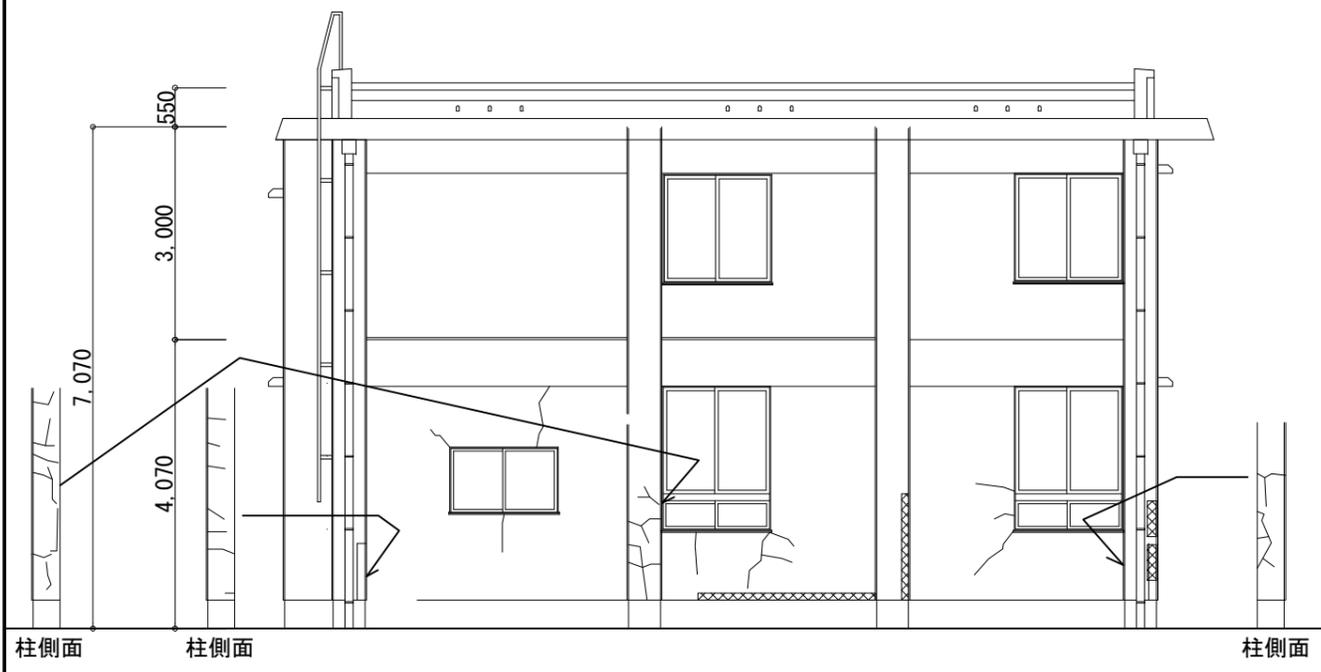




配置図・1階平面図 1/100



凡 例	
	クラックを表示する
	モルタル浮き箇所を表示する



西側立面図 1/100



南側立面図 1/100

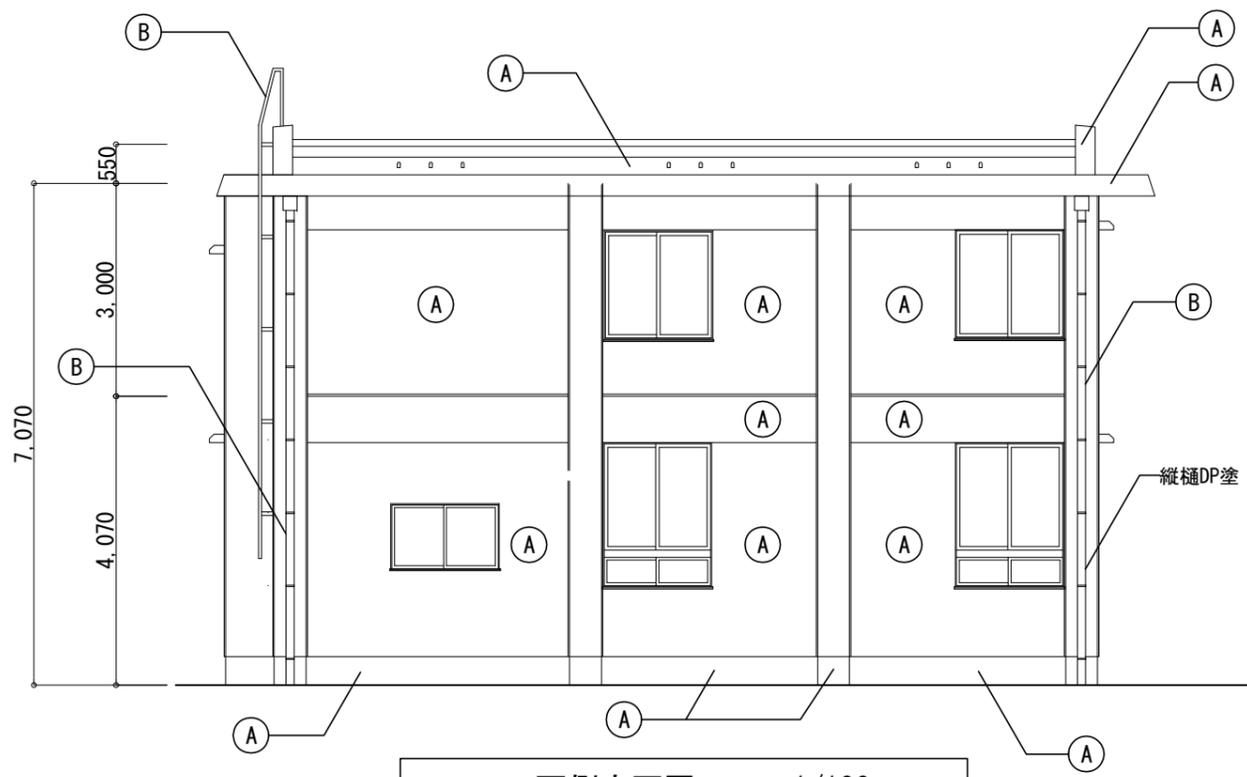


東側立面図 1/100

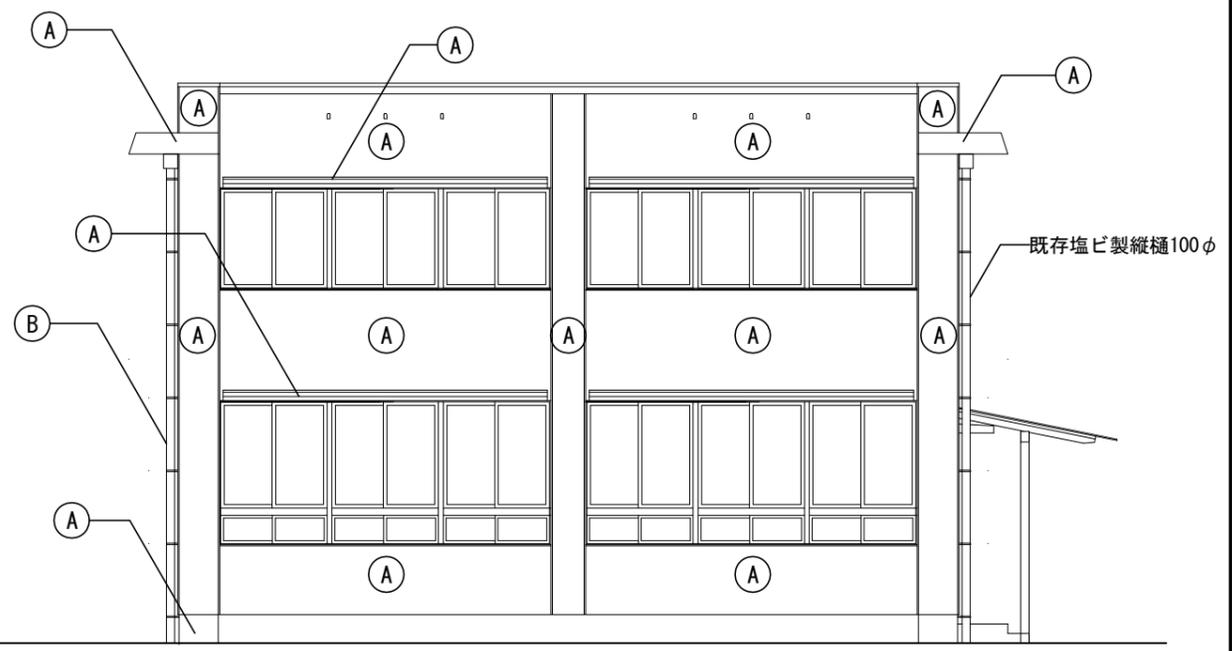


北側立面図 1/100

凡 例	
(A)	防水型外装薄層塗材E塗
(B)	鉄鋼面DP塗



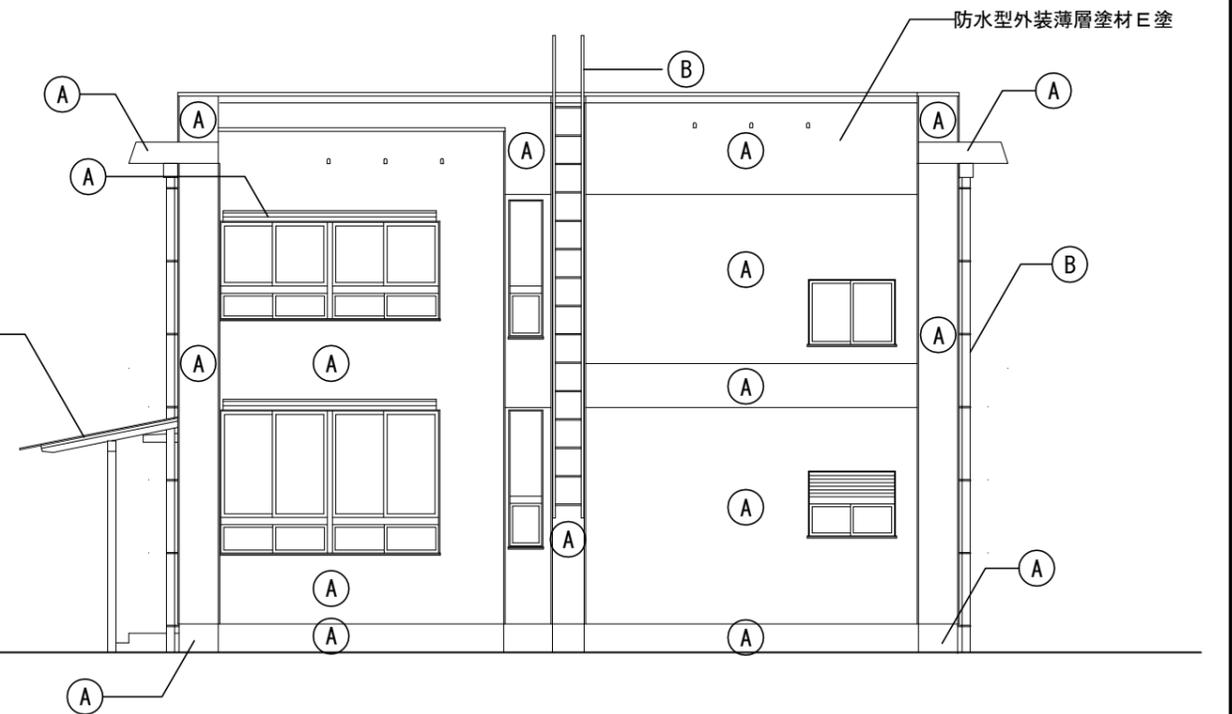
西側立面図 1/100



南側立面図 1/100

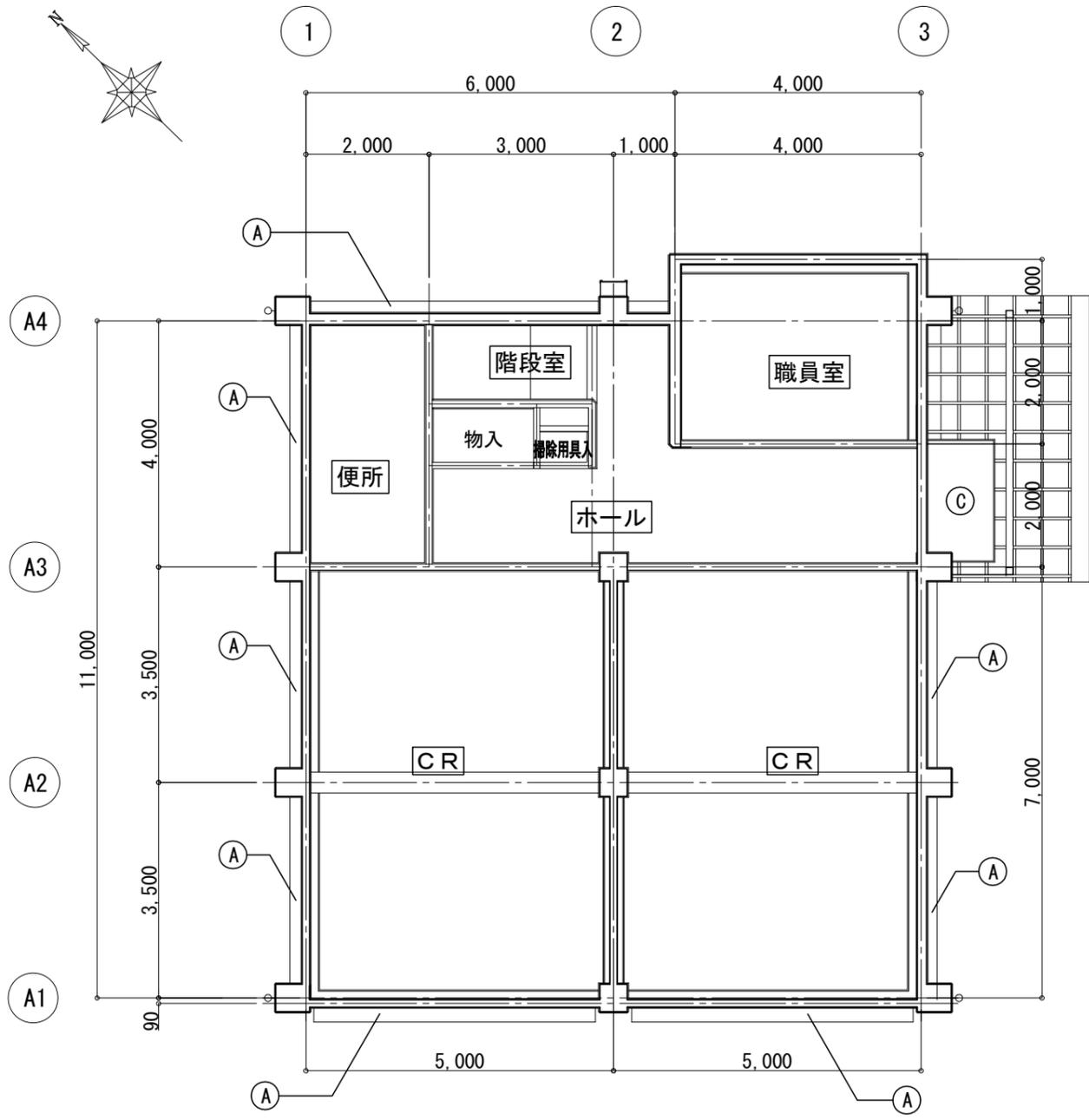


東側立面図 1/100

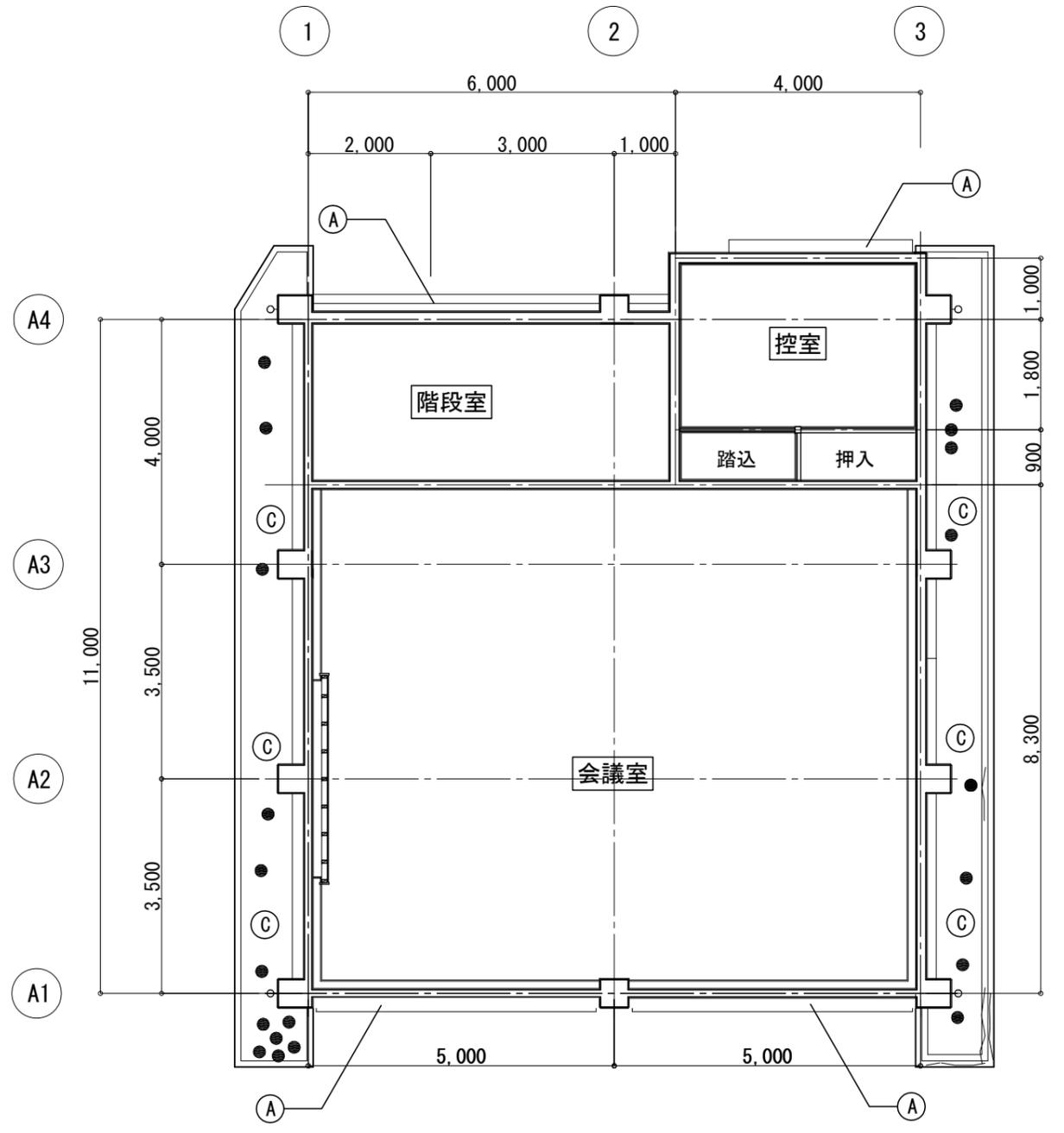


北側立面図 1/100

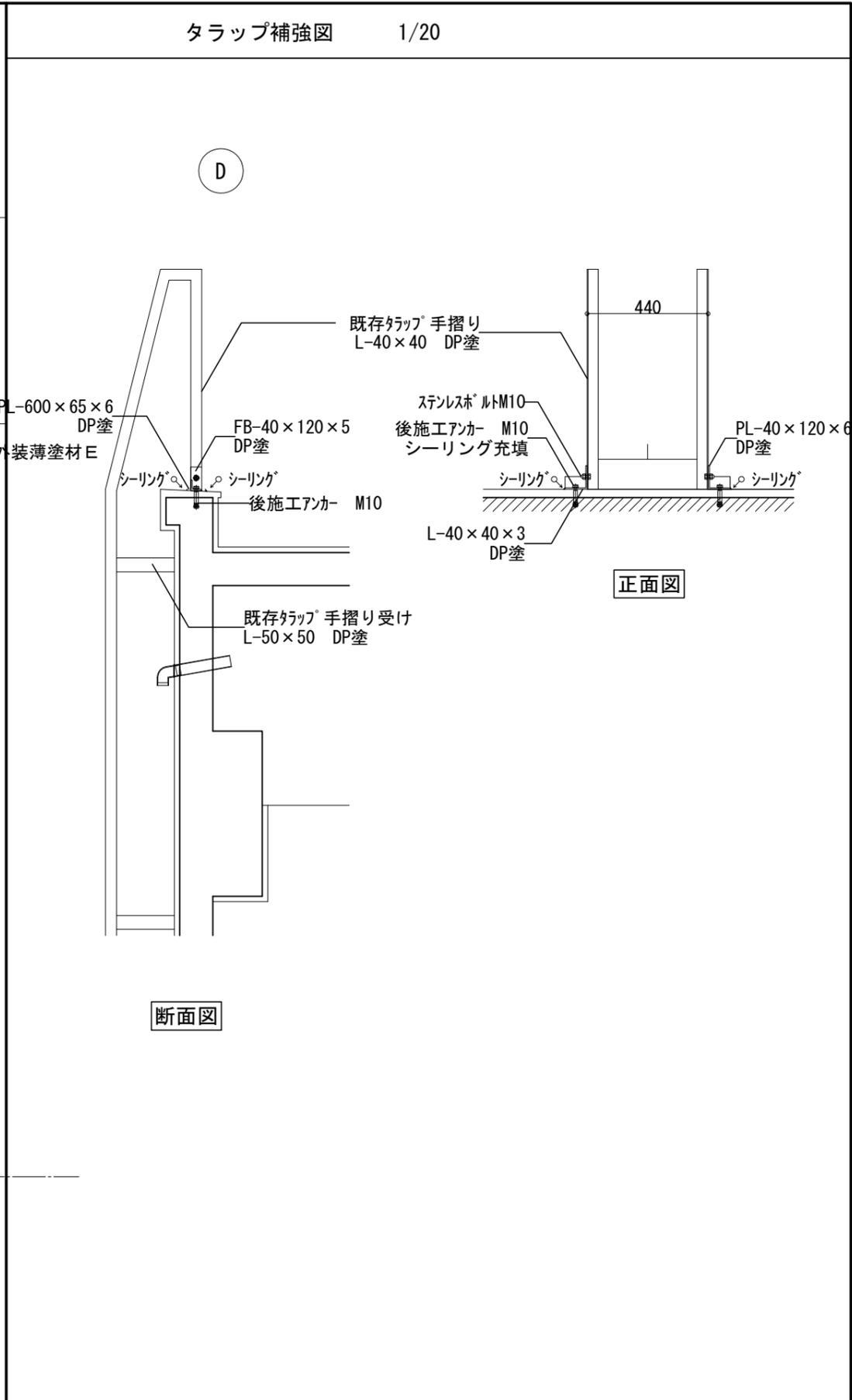
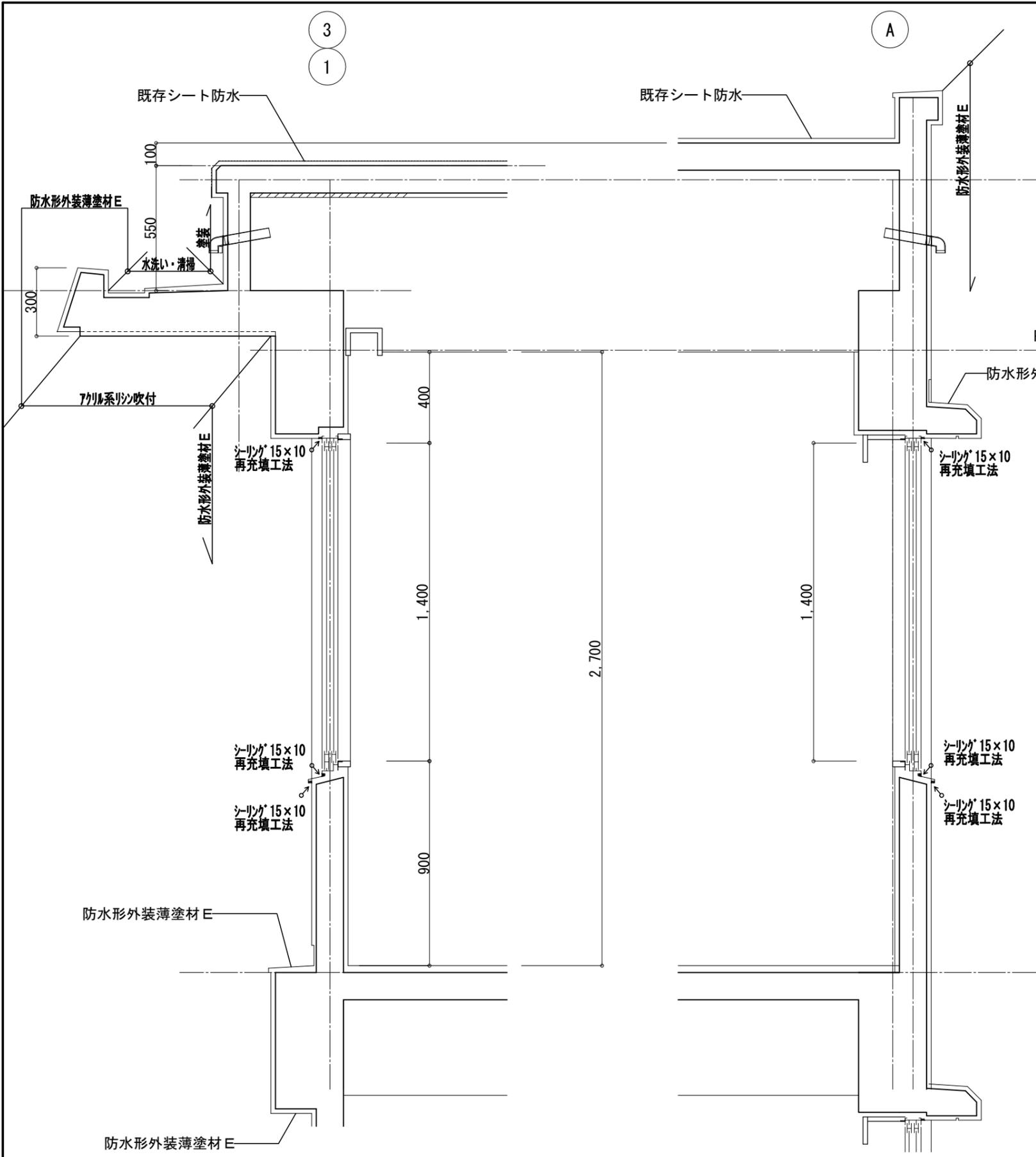
凡 例	
●	モルタル浮き0.25㎡以下を表示する
○A	防水型外装薄層塗材E塗
○C	アクリル系リシン吹付



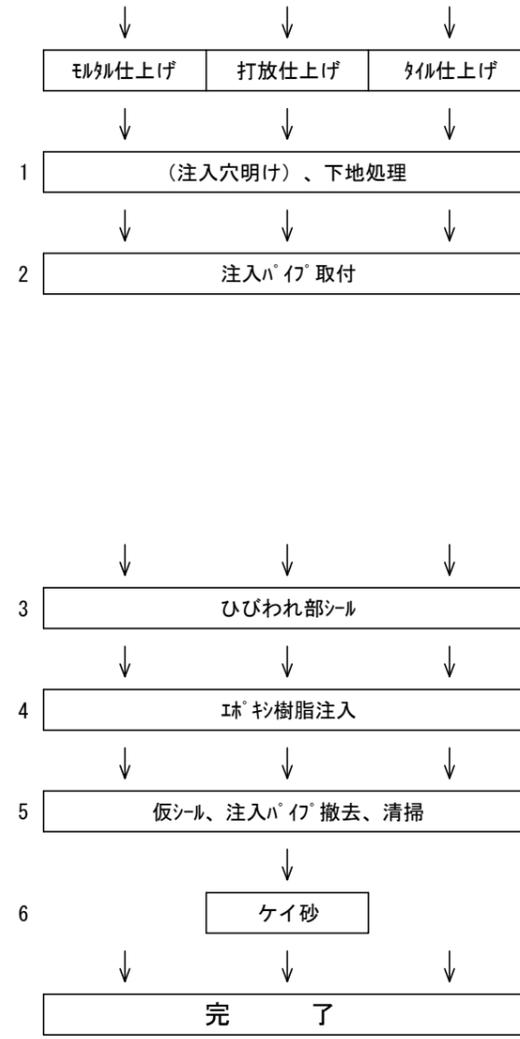
1階天井伏図 1/100



2階天井伏図 1/100



① 樹脂注入工法（ひび割れ部補修）



*条件
ひび割れ幅が0.2mm以上1.0mm未満の
ひび割れ部にエポキシ樹脂を注入する場合

1 ワイヤブラシ、ディスクサンダー等により幅50mm程度をケレン

2 自動式低圧

手動式、機械式

注入口間隔	ひび割れ幅	注入口間隔
200~300mm	0.3以下	50~100mm
	0.3~0.5	100~200mm
	0.5~1.0	200~250mm

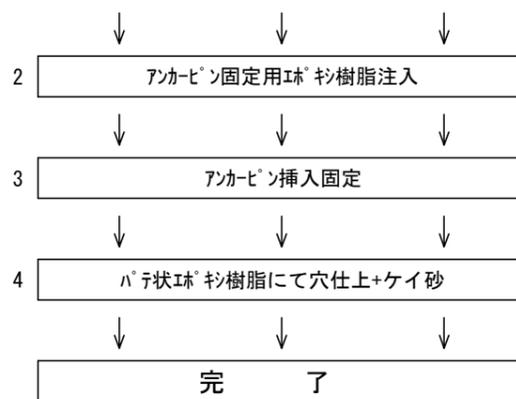
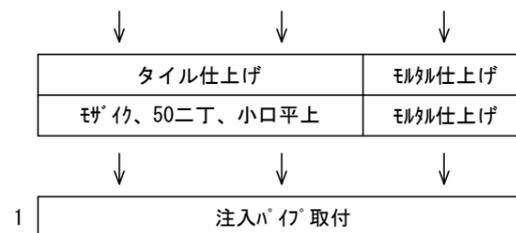
穿孔内の切粉を
圧さく空気等で除去

3 幅30mm、厚さ2mm程度にシールする

4 ひび割れの挙動がある場合→軟質形エポキシ樹脂
国交省営繕部監修建築材料等評価名簿記載同等

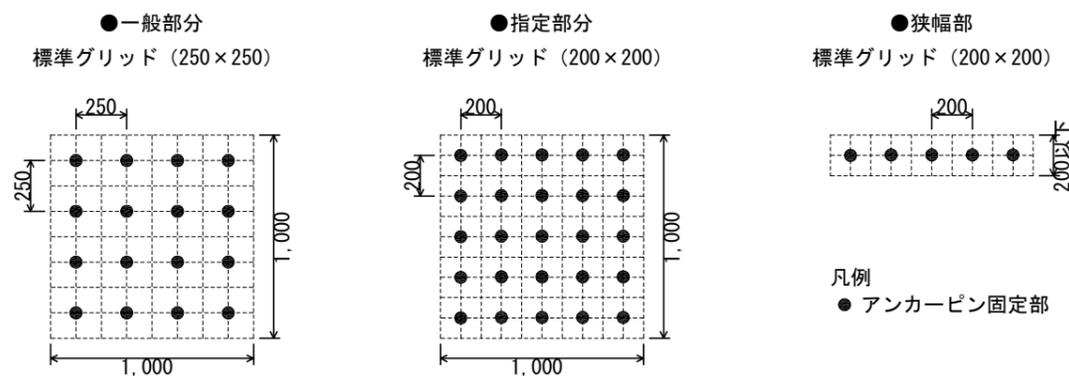
5 ひび割れの挙動がない場合→中、低粘度エポキシ樹脂
JISA6024 中、低粘度形

② アンカーピン固定用球状樹脂注入工法



② アンカーピン部分球状樹脂注入工法詳細図

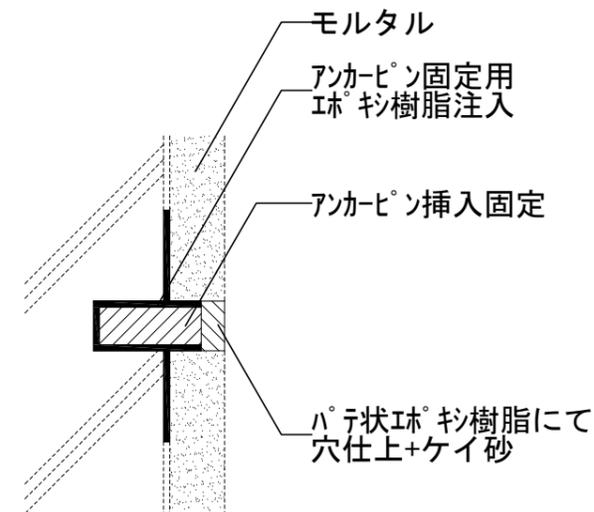
標準配置グリッド



*条件
通常の打撃によりはく落する恐れがない場合であって
1箇所の面積が0.25㎡以下の場合

補修箇所	一般部分	指定部分
アンカーピン本数	16	25

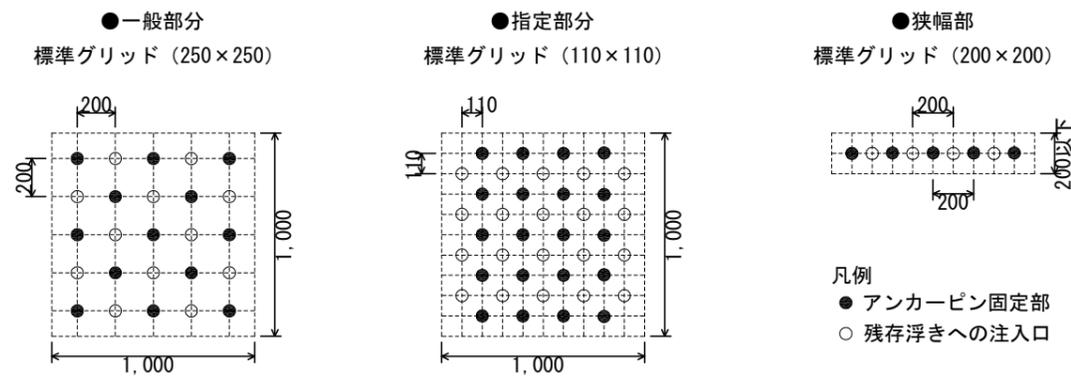
指定部分とは、見上げ面、庇のはな、まぐさ隅角部等をいう構造体コンクリートに約30mmの深さまで穿孔する。
穿孔後は、孔内をブラシ等で清掃後、圧さく空気等で接着の妨げとなる切粉等を除去する。



2 固定用球状樹脂充填量は、25cc/箇所とする。

② アンカーピン全面珪矽樹脂注入工法詳細図

標準配置グリッド



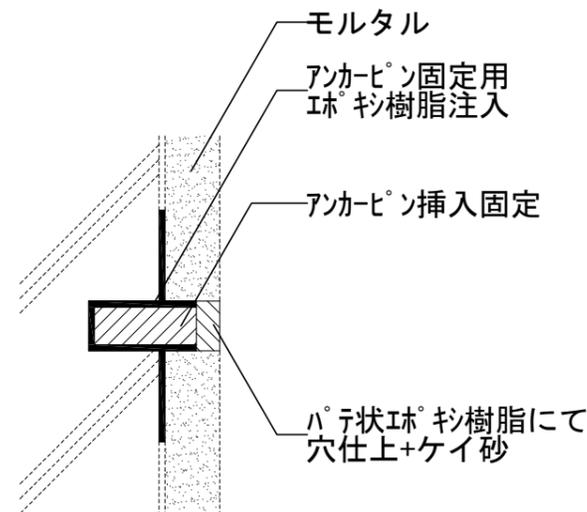
*条件
通常の打撃によりはく落する恐れがない場合であって
1箇所面積が0.25㎡以上の場合

1 (本/㎡)		
補修箇所	一般部分	指定部分
アンカーピン本数	13	20

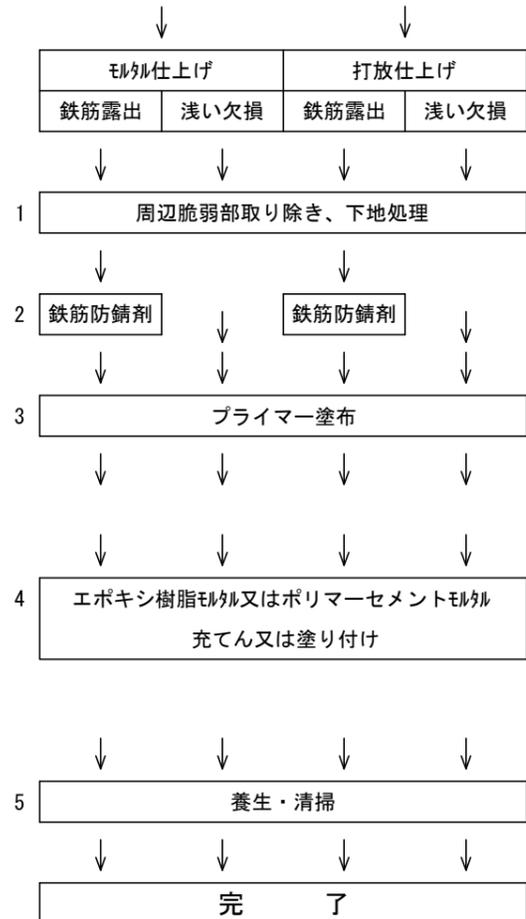
2 (筒/㎡)		
補修箇所	一般部分	指定部分
注入口の箇所数	12	20

指定部分とは、見上げ面、庇のはな、まぐさ隅角部等をいう構造体コンクリートに約30mmの深さまで穿孔する。
穿孔後は、孔内をブラシ等で清掃後、圧さく空気等で接着の妨げとなる切粉等を除去する。

2 固定用珪矽樹脂充填量は、25cc/箇所とする。



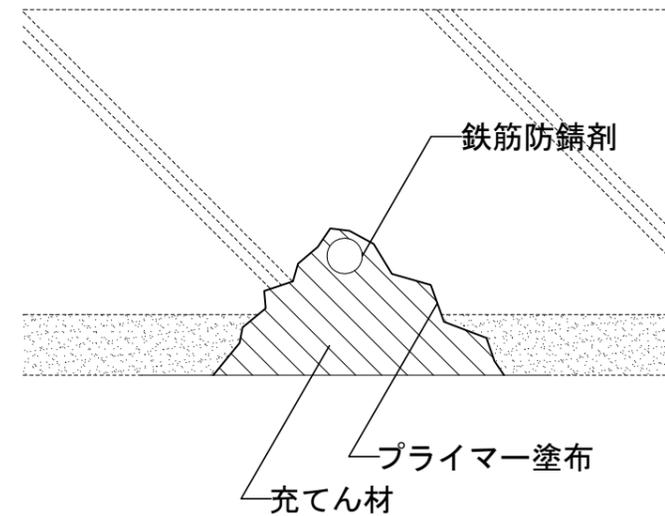
③ 充填工法（欠損補修）



*条件
モルタル爆裂等による外壁・軒天の浮きの補修

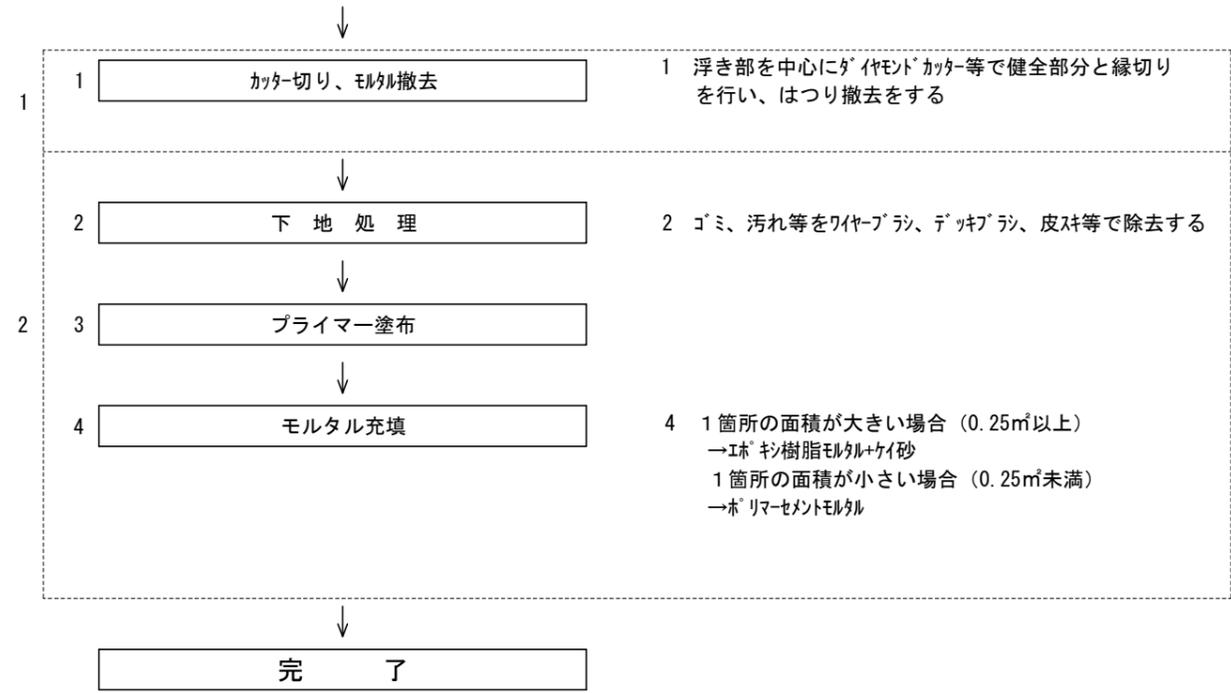
- 1 欠損部の周辺脆弱部をハンマー等で取り除く
- 2 鉄筋防錆剤
- 3 プライマーを被着面にはけを用いて塗布
- 4 比較的大きい欠損部→エポキシ樹脂モルタル充てん工法
国交省営繕部監修建築材料
等評価名簿記載同等
比較的小さい欠損部→ポリマーセメントモルタル充てん工法
(1回の塗り厚は7mm程度) 国交省営繕部監修建築材料
等評価名簿記載同等

③ 充填工法（欠損補修）詳細図

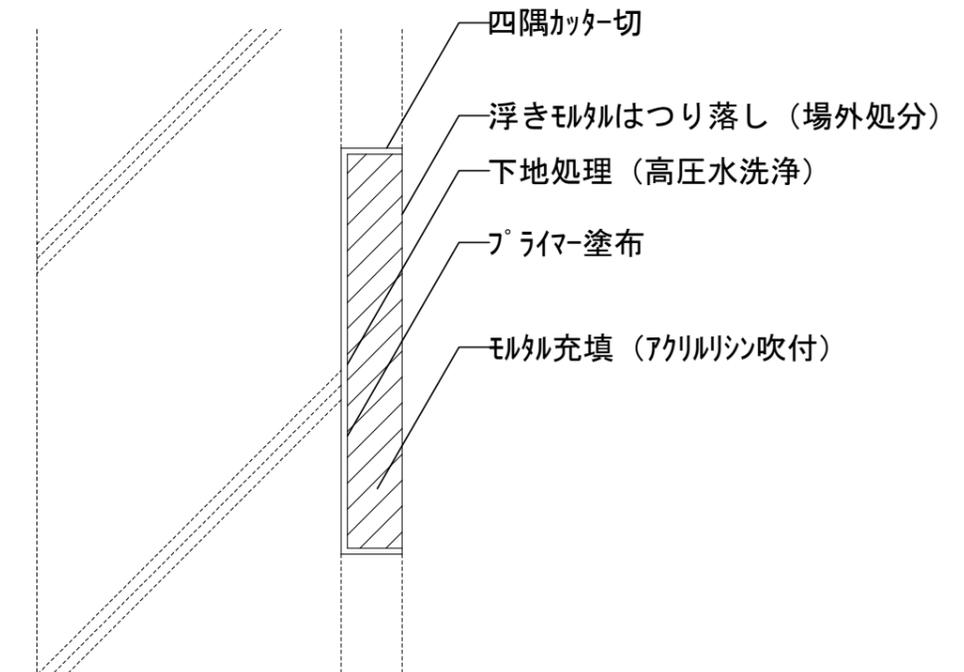


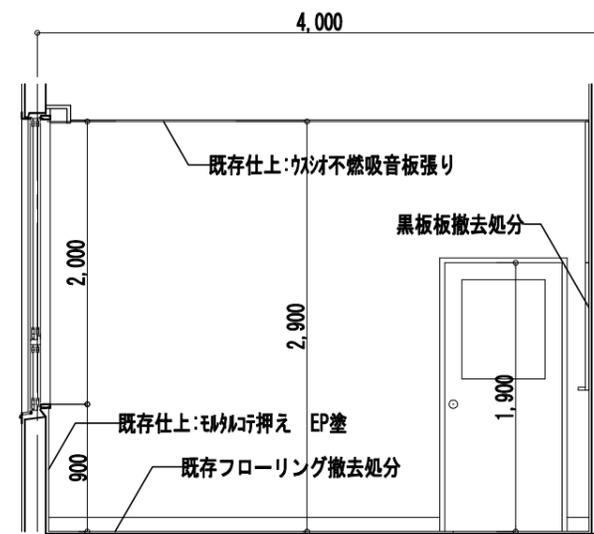
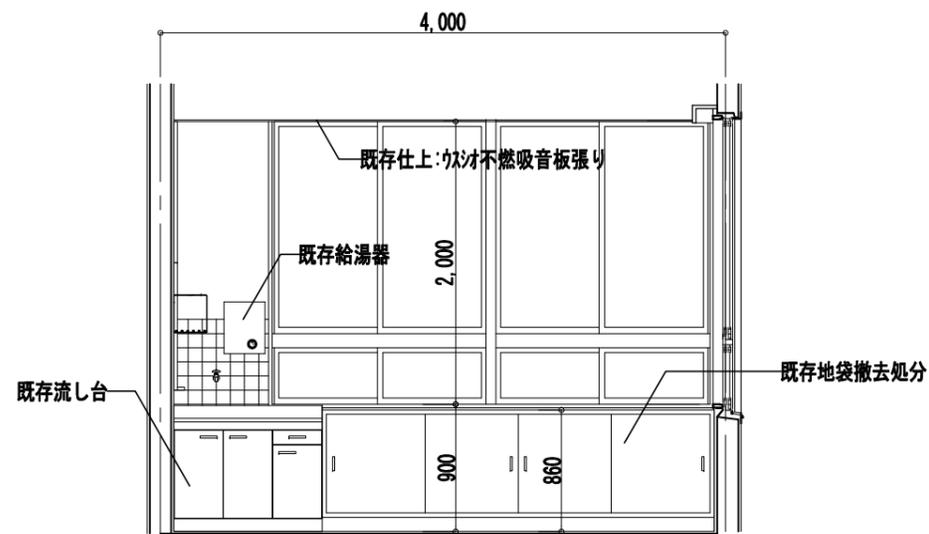
⑤ 充填工法（モルタル浮き部撤去補修）

*条件
通常の打撃により剥落する恐れがあるモルタル仕上げ

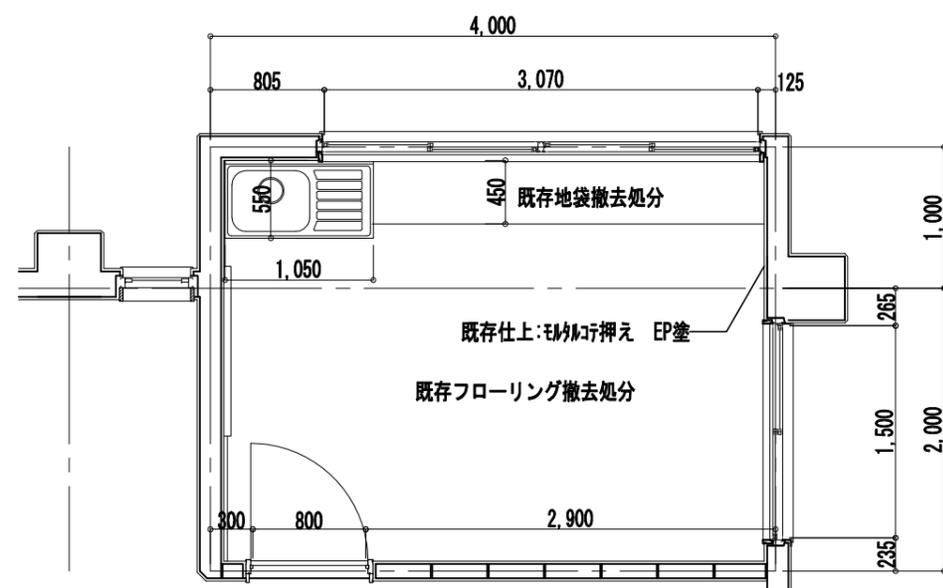


⑤ 充填工法（モルタル浮き部撤去補修）詳細図

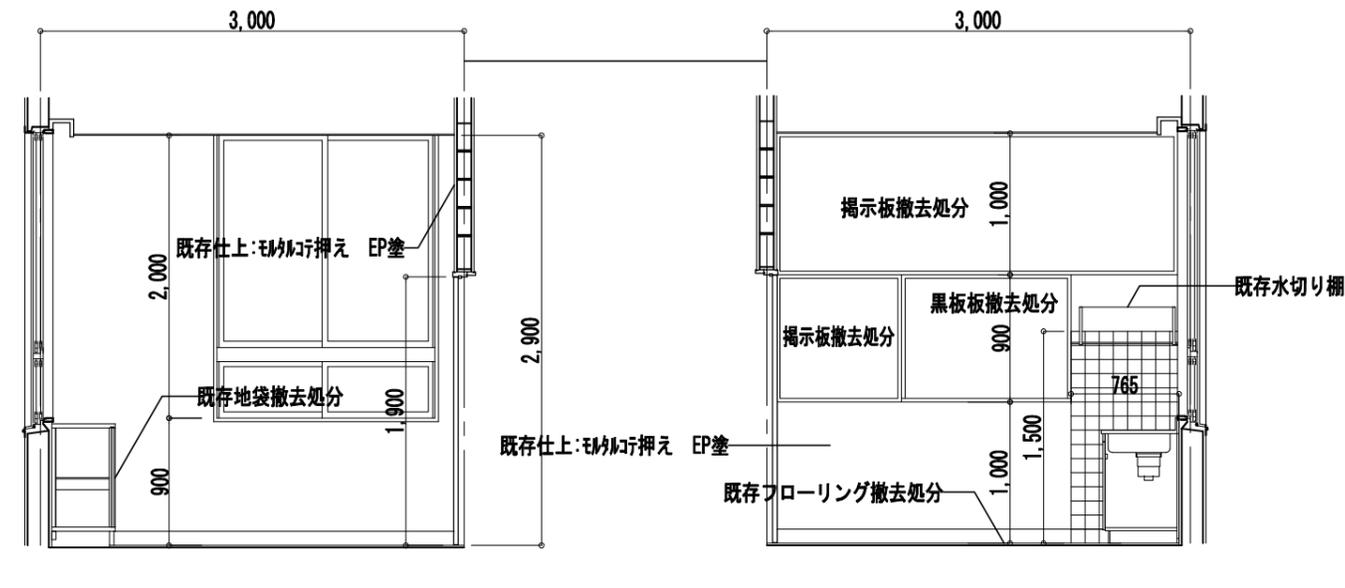




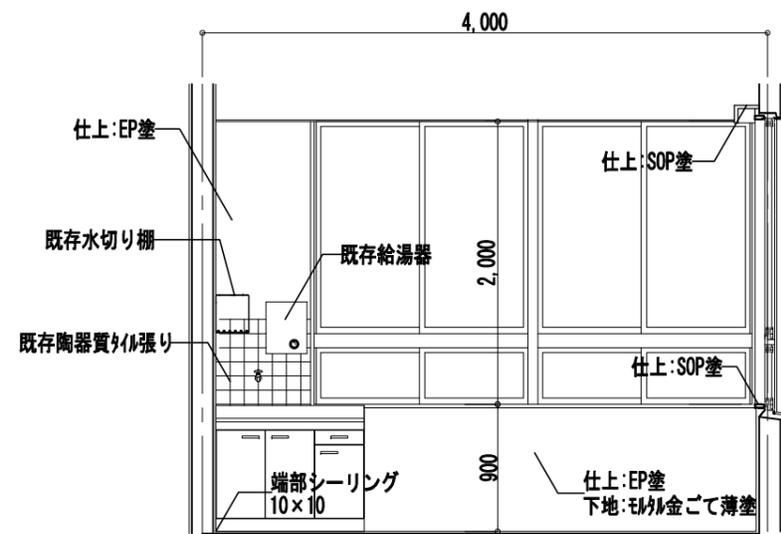
北 展開図 1/50 南



平面詳細図 1/50

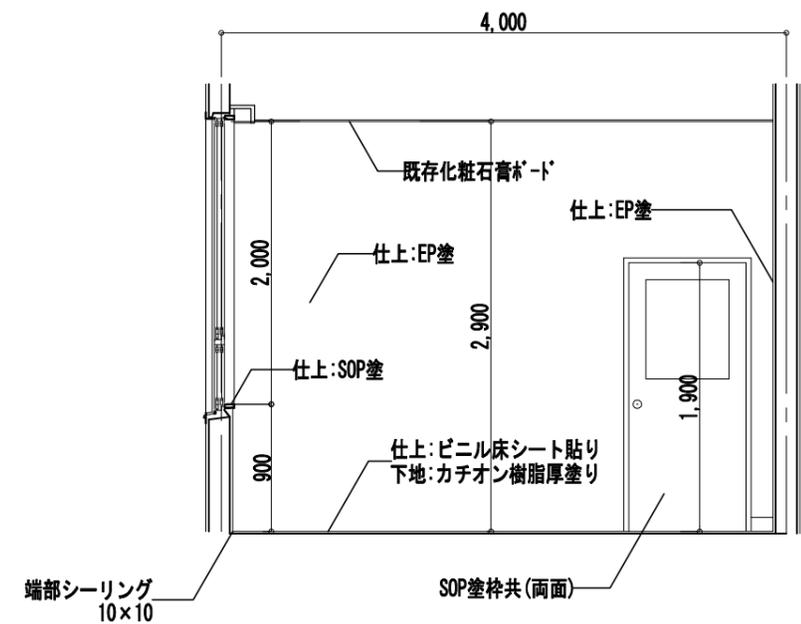


東 展開図 1/50 西

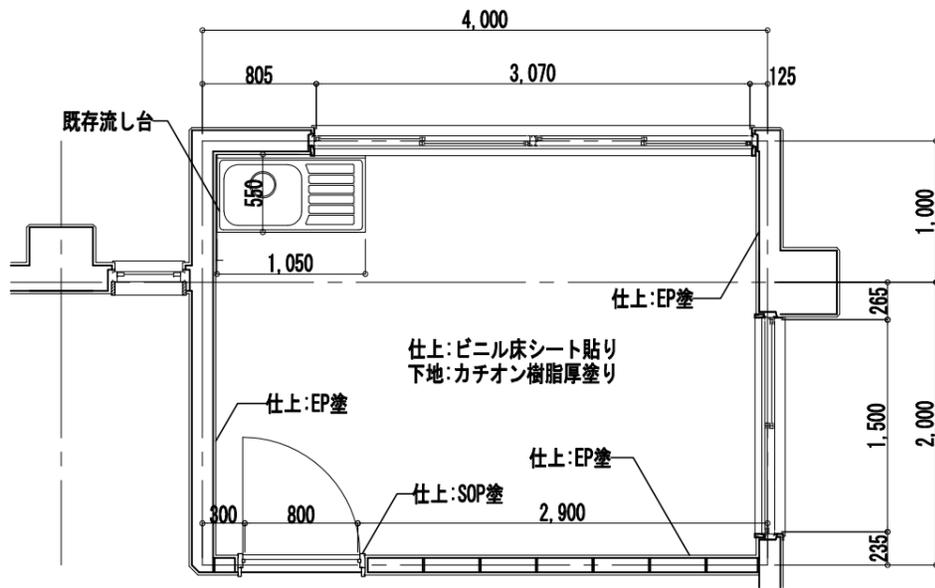


北

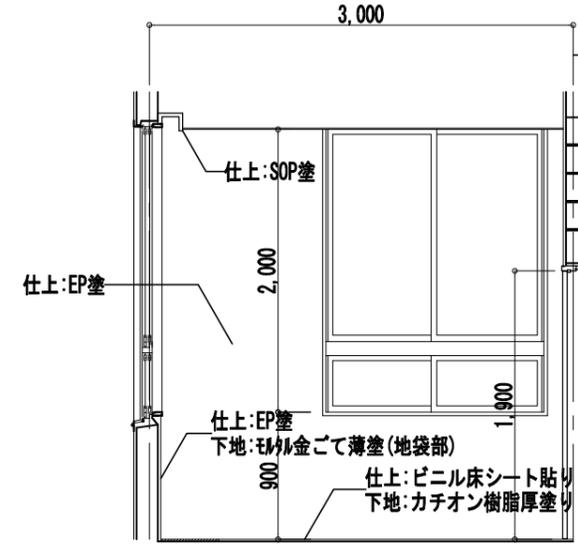
展開図 1/50



南

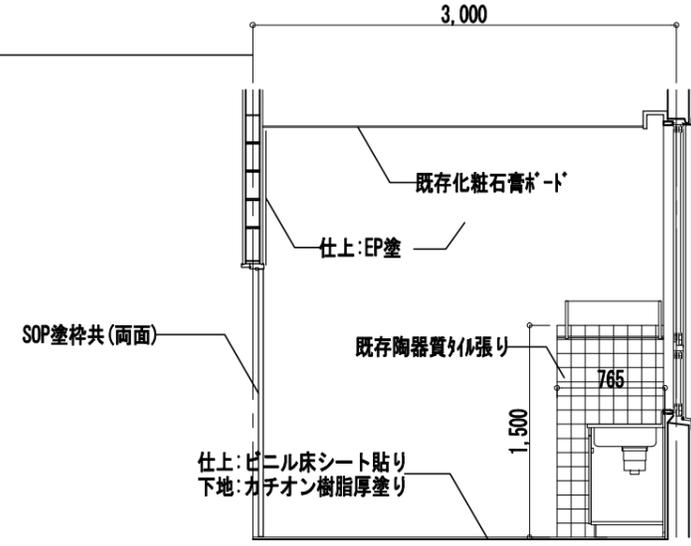


平面詳細図 1/50



東

展開図 1/50



西